

歩こうかい 5 月例会(通算 383 回)



## 中山道をあるく ②



### 落合宿～中津川宿

2023 年 5 月 10 日(水)

天気:晴 ・参加者 12 名 <15,000 歩>

落合川駅・・・落合ダム・・・村瀬橋・・・落合宿本陣・・・大釜・・・善昌寺・・・与坂立場跡・・・子野の一里塚・・・

子野地藏堂石仏群・・・芭蕉句碑・・・石畳の道・・・高札場跡・・・中津川宿歴史散歩・・・中津川駅

朝から青空が広がる絶好のウォーキング日和。約 40 年続く歩こうかいの例会では、降り立つことがなかったと思われる JR 落合川駅に 10 時 03 分到着。駅を出ると目の前にはダム湖が広がり、遠くに堰堤が見える。大正 15 年(1926 年)、木曾川に 2 番目に作られた落合ダムは、下流左岸の福澤桃介(4 月例会にも登場)ゆかりの落合発電所と共に「日本の近代土木遺産」に選定されている。又、支流にかかる村瀬橋は建設から 100 年ほど経っていて、現在は車両通行禁止となっているが、当時は桃介橋と同様にトロッコが走っていたようだ。



落合ダム



村瀬橋

村瀬橋を渡り、1Km 程歩くと落合宿に着く。落合宿は江戸の板橋から 44 番目の宿場で、東西両入口に枳形があり、宿場のほぼ真ん中あたりに本陣、道を挟んで脇本陣があった。当時の賑わいを思い浮かべながら街並みを歩き、各所に建てられた常夜灯や案内版で足を止め、本陣前で集合写真を撮る。宿場町としてのおもてなしの心は今に残す「落合宿助け合い大釜」は、かつて寒天の原料の天草を煮るときに使用されたものとされている。又、善昌寺は慶長 5 年(1600 年)の創建といわれ、ここにある松は創建当時の山門を覆っていたことから門冠(もんかぶり)松と呼ばれていて、宿場の入口に格好の風采を添えている。



土蔵と常夜灯



本陣前で集合写真



助け合い大釜



善昌寺・門冠松

落合宿から中津川宿までの約3、9Kmには長い急坂が何か所かあり、足取りも重くなるが、遠くに眺める棚田や山並みの風景に癒される。



急な坂道を上る



遠くに棚田の風景



正面に恵那山

与坂立場跡を経て子野の一里塚を過ぎる頃に昼時となり、街道沿いに備えられている東屋で昼食休憩。さらに進み、子野地藏石仏群、芭蕉句碑を経て、石畳の道を下るとほどなく中津川宿に入る。



昼食風景



子野地藏堂の枝垂桜



芭蕉句碑



石畳の道を下る

復元された高札場に掲げられた法度(はつと)や掟書(おきてがき)は現代にも通じるものが多く、時代は変わっても人のいとなみは変わらないようだ。中津川宿には旧家の街並みが残されているが、街道沿いの店は水曜日休業で人通りはほとんど無く、長い坂道歩きの疲れもあって早めに散策を切り上げ、中津川駅近くのショッピングモール内のマクドナルドで歓談の後、14時52分の列車で帰路に就く。 記:奥村正忠



高札場



本陣跡



卯建(うだつ)の残る街並み



散策風景



歩き疲れて一休み



街はずれの道標